

平成25年度越谷市自治基本条例推進会議 第4回会議 ワークショップ結果【A班】

第1回（行政評価、組織、審議会等への参加）

- ・行政評価に、内部評価・外部評価をとり入れ、効率的で効果的な市政運営がなされていると言える。
- ・外部評価を公開ヒアリングとし、また、評価結果を市民に公表していることは評価できる。
- ・公開ヒアリングのお知らせを city メールで周知したことは良い。
- ・ホームページにのせるだけでは、市民には伝わらない。特に高齢者はホームページへアクセスできない方々もいる。分かりやすい評価制度とするよう努めるべき。
- ・もっと市民参加できる制度もあって良いのでは。例えば、さいたま市では「市民討議」（無作為に市民をえらんで、あるテーマで議論、評価してもらう。）をやった例もある。もっと市民参加の手法を工夫し、門戸を開く必要がある。
- ・制度そのものや取り扱っている内容が、分かりづらい。身近な例を用いて、分かりやすい事例に参加させる。例えば、公園をつくったけれど、どうだったか。このことを市民が学ぶようにする。
- ・ゴミの分別収集を導入した時に市が説明してまわったように、説明することはできないか。

第2回（危機管理）

- ・自治会は機能しているのか。一方で、行政が自治会に頼り過ぎていないか。
- ・自治会の仕組みづくりはできているので、その仕組みの上で個人がどれだけ防災意識や危機意識を発揮できるかが課題である。
- ・自治会を活性化させていくためには、参加する人としらない人との不平等感を解消する必要がある。
- ・防災訓練や防災に関する講座は増えている。
- ・自治基本条例に危機管理の規定があるが、条例の制定を受けて特に変化していない。
- ・孤老や要援護者の名簿の準備、整備が必要であるが、これには、市からの情報提供や支援も必要である。
- ・自主防災組織のモデルケースを示して、広げていくのも効果的ではないか。
- ・市が有事の際のリーダーとなる防災士を地域ごとに育成する。

第 3 回（財政運営）

- ・ 情報公開を行う際には、一般企業会計にそった財務諸表を用いての公開が必要である。
- ・ 税の使われ方についての情報公開を前面に出す必要がある。
- ・ 公開については必要なことは行われているが、もっと分かりやすくすべき。
- ・ 財政運営においては「参加」と「協働」がなされていないのでは。
- ・ 予算の編成過程をホームページで公表していることは良いことだ（平成 23 年当初予算から新規）。